

加西市老連

手作りマスクの寄贈



5月末の緊急事態宣言の解除を受け、人々の外出機会が増えるため、加西市から、市内の3〜5歳の保育園児や、また、各種行事等で必要となる高齢者の方を対象とする「手作りマスク」の製作要請がありました。

市老連としても、「得意とする裁縫技術を活かして協力しよう!!」と直ちに応じることになりました。



市町老連の活動報告

型紙を基に生地を裁断し、表裏をきちんと合わせ、弛みがないように押さえながら、ミシンで見た目が美しくなるよう、

端から3ミリの幅を取って「ふち縫い」をしています。

最終のゴム通しでは、ゴムひもの替わりに、やや厚地の新しいストッキングをリング状に切り、それをはさみ込んで縫い上げ、仕上げるという工夫をしました。

会員の皆様のご協力により、柔らかく耳にかけ易く、また、カワイイおしゃれなマスクがたくさん出来上がりました。

私達の「コロナに負けないでね」という熱い想いが、どうか多くの皆様に届きますように!!

豊岡市老連

みんなの笑顔が見たくて「健康ウォークラリー」



豊岡市総合体育館で開催しました。当初の予定の7月9日、連日の梅雨空の中「この日しかない」という好天に恵まれました。

10回の節目を迎えた今年には趣向を変え、「コマの採用」とこれまでは午後に行っていた「ゲームをコース中3箇所・体育館(午後2つ)」としました。

3月からストップしたままの活動を、新型コロナウィルス緊急事態宣言の解除を受け、会員の皆さんの笑顔が見たくて開催しました。マスクの着用・手指消毒・健康チェックのほか、熱中症予防と人との距離を保つため「マスクは外して傘をさしながら」のウォークラリーです。

参加チームは20(100人)スタッフと併せて132人、梅雨空を吹き飛ばす笑顔にあふれていました。

兵庫県からのお知らせ

近年、毎年のように大規模災害が頻発しており、多くの高齢者や障害者が犠牲になっています。令和2年7月豪雨災害では想定外の雨量に対応できず、被害に遭われた方の8割以上が高齢者であったと報道されています。一人ひとりが自らの命は自らが守る「自助」の意識を持つことが大切です。

県では県老連と連携し、防災ピアリーダー等を任命し、各地で自助力を高めるワークショップの開催等を支援しています。①警戒レベル3で自宅から避難所へ逃げる水平避難、②浸水を想定し高いところへ逃げる垂直避難、③家にとどまることで安全を確保する在宅避難などその場に適した避難行動を心がけましょう。また、家族等といざという時にどのような方法で連絡を取り合うのか、集合場所、避難場所や避難経路などを事前に確認しておくことも大切です。コロナ禍において、持ち出し準備品や避難所での対応に変化もあります。平常時から防災意識を持ち、逃げ遅れることなく、命を守りましょう。



国道3号浸水状況(芦北町役場前: 熊本県葦北郡)

スポンサーの皆さまへ

このたびは、のじぎくクラブ兵庫が発行する「きずな」への広告掲載を賜り、誠にありがとうございました。

私たち老人クラブは、高齢者の幸せづくりと地域貢献を目標に、健康と友愛、そして奉仕の精神をもって、これからも積極的な活動を行ってまいりますので、今後ともますますのご支援をお願い申し上げます。

のじぎくクラブ兵庫

お問い合わせ先

兵庫県企画県民部  
防災企画局防災企画課

078-362-9870

わたしたちはのじぎくクラブ兵庫の活動をサポートしています
